6．水質と腐食

6.1　腐食に関わる水質項目

建築設備配管系の水質に関わる三大トラブルと着目すべき水質項目を**図6－1**に示します。pH、遊離炭酸、溶存酸素、残留塩素に関しては現地測定が基本となります。



図6－1　水質に関わるトラブルと水質項目

6.2　水質と各種材料の腐食性

配管･機器内の水のpHと各種材料の腐食性の関係を**図6－2**に示します。pHと各種材料には以下のような特徴があります。

①pHが高すぎると亜鉛（Zn）やアルミ（Al）は腐食します。

②pHの影響だけを考えると、鋼製材料は建築設備のほとんどのpH環境で腐食する一方、ステンレス鋼（SUS）は低pHを除き腐食しにくい材料と言えます。